

他の専門部会への提案

未来創造・地域社会部会への提案

No.	提案元部会	提案の概要	提案に関連する県の取組状況	関係部局
1	産業・雇用部会	県外から若者等を県内に回帰させるため、進学者に対する県内就職を条件とした給付型奨学金を実施してはどうか。	全額給付型ではないが、若者の県内定着・回帰及び県内の各産業を担う人材の確保を目的とした奨学金返還助成事業を実施している。 助成対象者は県内就職者のうち公務員等の一部の業種を除いて、ほぼ全ての業種を網羅しているほか、県が指定する特定5業種に就職した方には、補助率の嵩上げを行うなど、手厚い支援を実施している。	あきた未来創造部
2	産業・雇用部会	県外から若者等を県内に回帰させるため、県外進学者等に対し、県のHP等で、首都圏企業に勤めた場合と県内企業に勤めた場合の生活コストや余暇時間などを分かりやすく比較して示してはどうか。	県内の高校3年生（進学予定）及びその保護者向けに就職情報誌を発行しており、その中で、県内企業の情報や先輩社会人からのメッセージのほか、秋田での暮らしに係る費用や時間などを東京都と比較する形で掲載し、秋田での暮らしの豊かさをPRしている。なお、情報誌は県内高校への配布に加え、県就活情報サイト「こっちゃけ」にも掲載し、広く周知している。	あきた未来創造部
3	産業・雇用部会	若者の県内定着に係る支援策を考えるに当たって、県内大学生の声を直接聞く機会（ワークショップ）を設けてはどうか。	今年度から秋田大学ゼミ生と連携し、SNS等で秋田の魅力発信を行う事業を実施している。その中で、県担当者を含めた定期的なミーティングの際に、学生の意見等を聞く機会を設けているほか、県庁へのインターンシップ学生や、各種就活イベントに参加した学生から、県の施策に対する意見や若者の考え方などを聞くように努めている。	あきた未来創造部
4	産業・雇用部会	フルリモートを採用している大手企業等と連携し、一定期間県内に居住してもらう取組を行ってはどうか	リモートワークについては、「リモートワークで秋田暮らしパートナー企業」が実施するリモートワーク移住体験について支援を行っている。 また、ワーケーション実施企業に対する支援も実施しており、ワーケーション実施中の様子をSNS等で発信していただき、PRを行っている。	あきた未来創造部